

富山市スマートシティ推進ビジョン 検討有識者会議

資料

◎資料目次

- 1 富山市スマートシティ推進ビジョンの策定
- 2 コンパクトなまちづくり
- 3 コンパクトシティ政策の深化
～まちづくりの新たなステージ～
- 4 第1回有識者会議の論点
～富山市版スマートシティを目指して～

1 富山市スマートシティ推進ビジョンの策定

1 富山市スマートシティ推進ビジョンの策定

1-1 ビジョン策定の趣旨

◎「(仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン」について

本市のコンパクトシティ政策のさらなる深化に向けて、ICT等の新技術の活用等により、市民生活の質や利便性の向上を図る「富山市版スマートシティ」について、本市のこれまでの取組を踏まえながら目指すべきまちの将来像を描き、その実現に向け「(仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン」として取りまとめるもの。

※ビジョンの射程は概ね10年を想定

1 富山市スマートシティ推進ビジョンの策定

1-2 実施体制

(1) 富山市スマートシティ推進本部

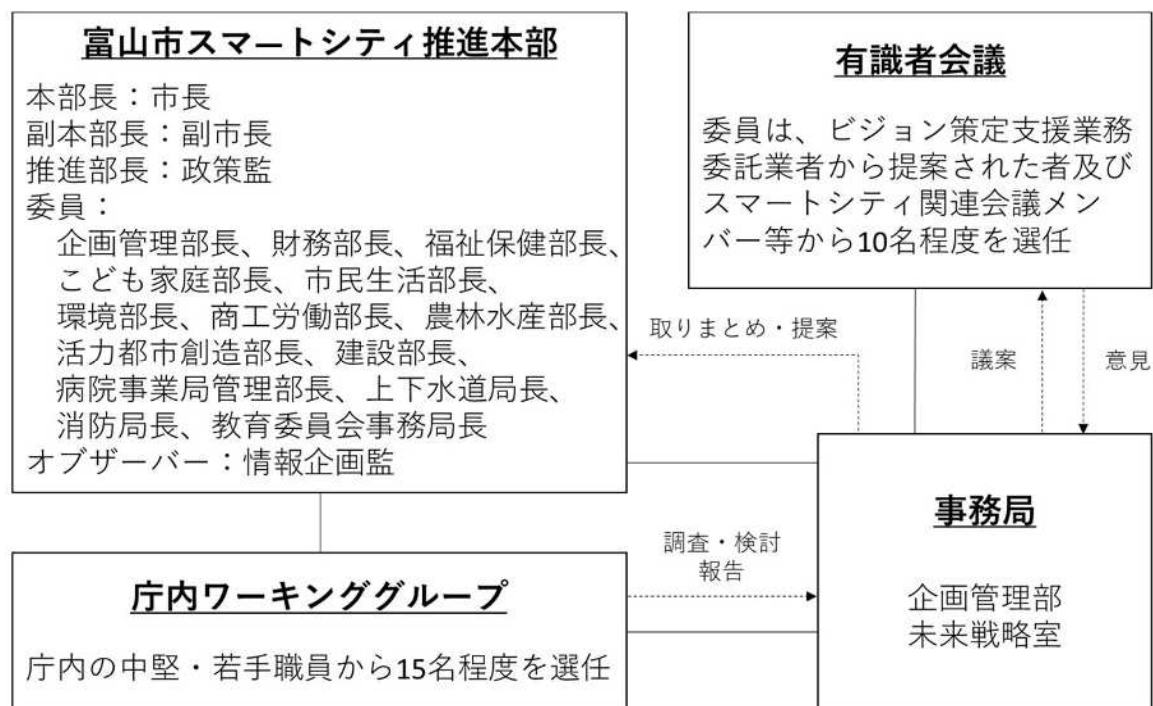
本市のスマートシティの推進に関する事項を所掌する庁内組織

(2) 庁内ワーキンググループ

推進本部及び有識者会議に提示する議案等について調査・検討する推進本部の下部組織

(3) 有識者会議

スマートシティに関する専門知識や実務経験を有する者で構成する推進本部の助言組織



1 富山市スマートシティ推進ビジョンの策定

1-3 策定スケジュール

	R3年度											R4年度			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
推進本部		① 6/3											②		③
有識者会議							① 11/26				②			③	
事務局・委託事業者					委託契約	内容調整・情報収集等					中間報告			完成	
庁内ワーキンググループ		① 6/3	② 7/1	③ 8/3	事業検討		④ 11/2	⑤	⑥	⑦					
市民意見の集約									1/9(日) 1/16(日) 1/30(日) ワークショップ			パブリックコメント			
企業ヒアリング等								→							

2 コンパクトなまちづくり

2 コンパクトなまちづくり

2-1 富山市の概要（基本情報）



- ・人口：414,171人（令和2年国勢調査速報値）
- ・市域：1,241 km²
- ・水深1000mの富山湾から標高2986mの水晶岳まで、高低差4000mのダイナミックな地形
- ・神通川・常願寺川をはじめ大小河川が多数流れる
- ・全国平均に比べ年間降水量が多く冬季は雪が多い
- ・日本海側有数の商工業都市
- ・令和3年度一般会計当初予算：約1727億円



2 コンパクトなまちづくり

2-1 富山市の概要（市町村合併）

- 平成17年(2005年)4月に7市町村が合併し、現在の富山市へ

市域：208 k m²（旧富山市） → 1,241 k m² ※市域の7割が森林

人口：約32万人（旧富山市） → 約42万人



人口減少と超高齢社会

低い人口密度

過度な自動車依存

公共交通の衰退

割高な都市管理の行政コスト

2 コンパクトなまちづくり

2-2 コンパクトなまちづくり（3本柱）

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

<概念図>

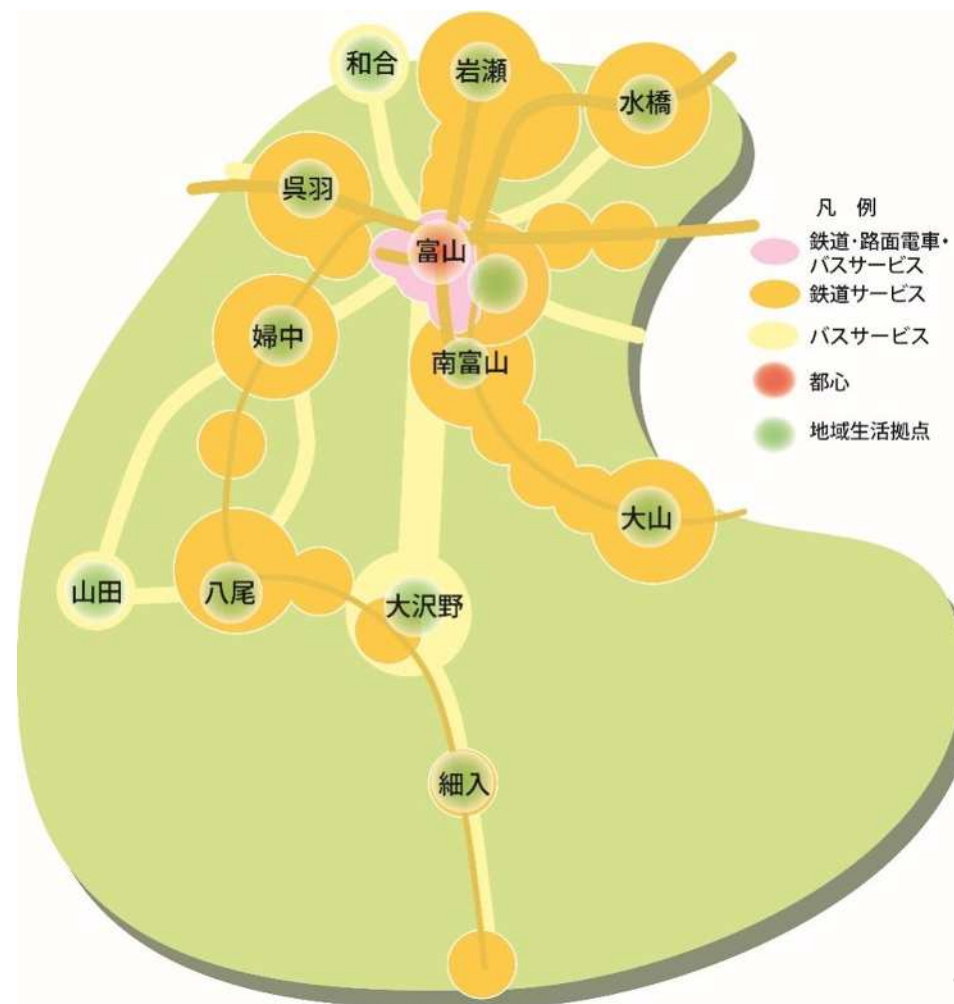
お団子と串の都市構造

串 : 一定水準以上のサービス
レベルの公共交通

お団子 : 串で結ばれた徒歩圏

<実現するための3本柱>

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住推進
- ③中心市街地の活性化



2 コンパクトなまちづくり

2-2 コンパクトなまちづくり（公共交通の活性化）






富山駅を中心に放射状のネットワークを形成

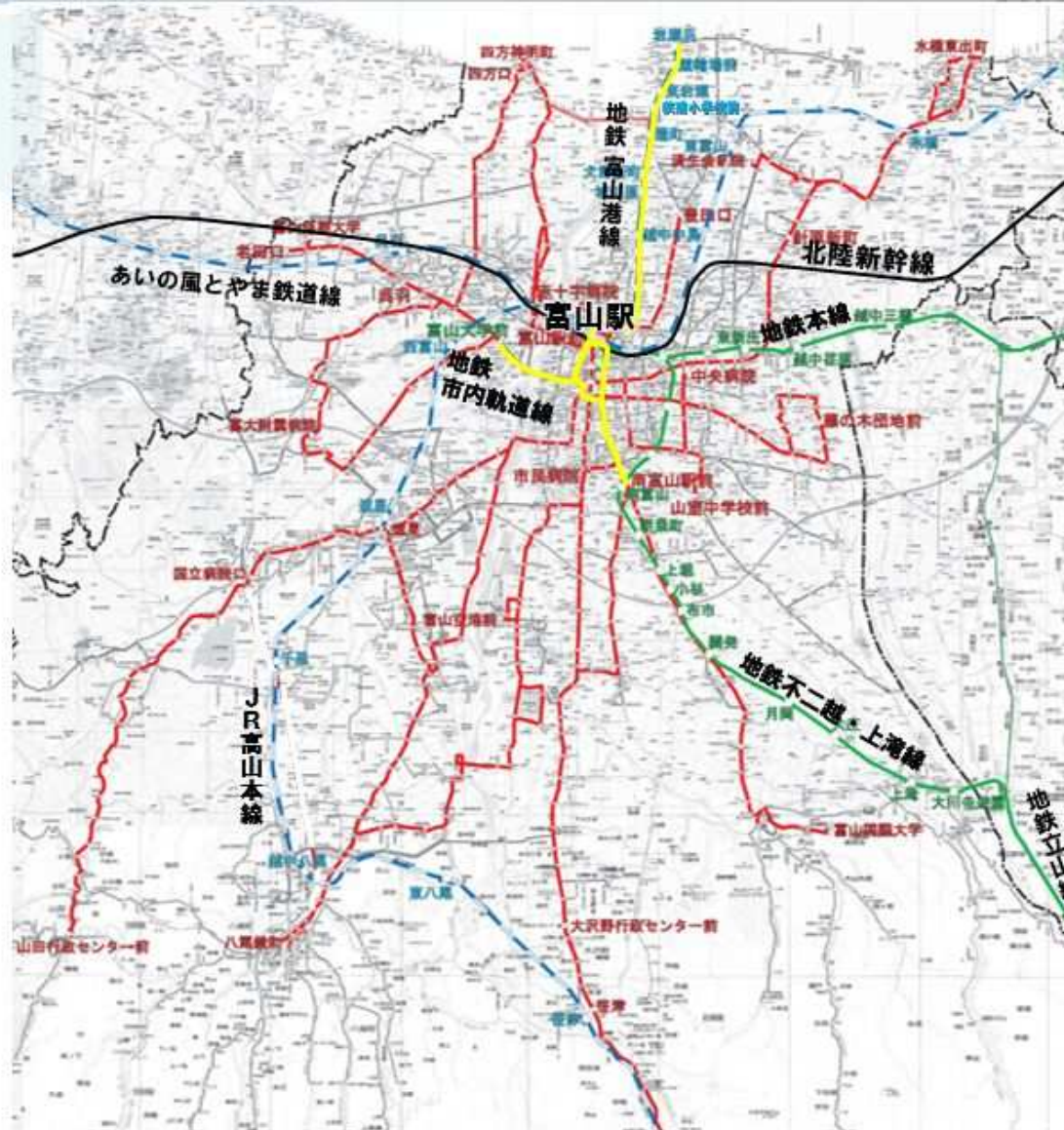
■鉄軌道(7路線)

- ・北陸新幹線
- ・あいの風とやま鉄道線（並行在来線）
- ・JR高山本線
- ・地鉄本線・立山線
- ・地鉄不二越・上滝線
- ・地鉄市内軌道線（環状線含）
- ・地鉄富山港線（旧富山ライトレール）

■路線バス

- ・富山地方鉄道(株)が運行するものを中心に約70系統

	北陸新幹線
	JR、あいの風とやま鉄道
	富山地方鉄道（鉄道）
	富山地方鉄道（市内電車）
	主要バス路線



2 コンパクトなまちづくり

2-2 コンパクトなまちづくり（公共交通沿線居住と中心市街地活性化）

<H29-R1における社会動態（転入）の合計>



3 コンパクトシティ政策の深化 ～まちづくりの新たなステージ～

3 コンパクトシティ政策の深化

3-1 富山市の近代化に向けたまちづくりの3つのステージ

第1のステージ (1897~1938年頃)

- 神通川の治水対策
- 富山駅開業(市街地の南北分断)

第2のステージ (1945~1955年頃)

- 戦災復興
- 都市計画道路・大型公共施設の整備

第3のステージ (2004~2020年)

- コンパクトシティ政策
- 平成の大合併(7市町村)
- 富山駅の南北接続 **100年の夢の実現**



まちづくりの第4ステージへ

3 コンパクトシティ政策の深化

3-2 まちづくりの第4ステージ（コンパクトシティ政策の成果と課題）

成果

- ・コンパクトシティ政策による公共交通の活性化等、都市インフラの整備
- ・まちなか、公共交通沿線居住が促進（約4割が中心／沿線に居住）
- ・公共交通の利便性が向上
- ・人口減少率の鈍化

今後の課題

- ・豊かな暮らしの実感、QOLの向上
→ 市民主体のまちづくり・地域づくり
- ・郊外や中山間地の住民（約6割）の持続可能な生活
→ 串とお団子エリア以外の将来ビジョン
- ・未だに多い車移動（変わらない価値観）
- ・コロナ禍の影響（変わった価値観）
→ ニューノーマルな社会への対応
- ・止まらない少子高齢化と、それに伴う
税収の減少や扶助費の拡大
→ 新産業の創出等による税収の確保

コンパクトシティ政策の“深化”

3 コンパクトシティ政策の深化

3-3 富山市版スマートシティの実現

コンパクトシティ政策の“深化”に向けて

- ・これまでのコンパクトシティ政策の成果を最大限に活かしながら、新たな課題の解決に取り組む。
- ・暮らしの利便性を高め市民一人一人の生活の質（QOL）のさらなる向上を図り、政策の果実を市域全体に広く行き渡らせる。



深化のための“手段”としての「デジタル技術」の活用



富山市版スマートシティの実現

4 第1回有識者会議の論点 ～富山市版スマートシティを目指して～

4 第1回有識者会議の論点

4-1 富山市が目指すスマートシティの方向性

富山市版スマートシティの3つの方向性

第1回富山市スマートシティ推進本部会議資料より

(1) コンパクト&スマート

コンパクトシティ政策を深化し、**地域特性に応じた市全体の均衡ある発展**を目指す

(2) 市民（利用者）中心主義

サービスを提供する行政や企業の目線ではなく、**サービスを利用する市民等の目線**で取り組む

(3) ビジョン・課題フォーカス

ビジョン実現のための都市や地域の**課題**を解決するべく、新技術やデータを利活用する

参考 「スマートシティガイドブック」よりスマートシティの3つの基本理念

（2021年4月：内閣府等）

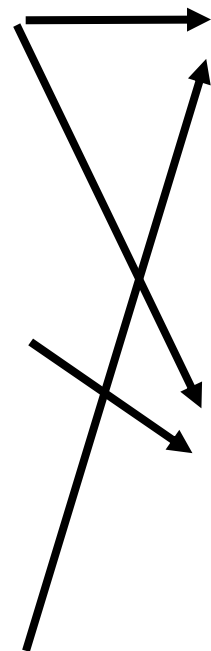
- ・ 市民（利用者）中心主義
- ・ ビジョン・課題フォーカス
- ・ 分野間・都市間連携の重視

4 第1回有識者会議の論点

4-2 富山市版スマートシティの実現に向けた論点

3つの方向性

- (1) コンパクト & スマート
- (2) 市民（利用者）中心主義
- (3) ビジョン・課題フォーカス



2つの論点

- ① コンパクトシティ政策の成果を活かしながら、どのように中山間地域を含めた持続可能な都市の将来像を描いていくか
- ② どうすればスマートシティの推進を通じて市民や民間事業者が豊かさや利便性を実感することができるか